

## 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2 -	高齢者福祉を推進する	福祉部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単 位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
健康チャレンジリ ーダー養成者数 (累計)	人	96	126	131			180
認知症サポーター 養成者数(累計)	人	20,794	24,104	25,528			33,500
関連事業							
老人クラブ支援事業 介護老人福祉施設整備費等助成事業 生きがい事業団助成事業 高齢者生活支援事業 終末期に向けた権利擁護推進事業 介護予防・生活支援サービス事業 一般介護予防事業 包括的支援事業 介護人材育成定着支援事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		893,124	983,698				
執行率(%)		95.71	97.06				
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「地域包括ケアシステムの深化・推進」</p> <p>地域共生社会の実現を見据えて、更なる地域包括ケアシステムの推進を図るため、地域包括支援センターでは、関係機関や地域の関係団体等と連携して、高齢者の相談や総合的支援を行いました。また、在宅医療・介護連携支援センターでは、医療・介護関係者による多職種連携研修や在宅医療に関する動画の配信を行う等、在宅医療と介護の連携を推進しました。</p> <p>また、認知症本人からの情報発信支援、認知症サポーター養成講座等の開催、簡易認知機能検査プログラム等を活用した認知症予防に向けた早期対応を行うなど、地域包括ケアシステムの推進に取り組みました。</p> <p>「高齢者の生活基盤強化」</p> <p>生きがいの創出と健康づくりに取り組む老人クラブの活動について、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの多くが中止となりましたが、グラウンドゴルフ大会や生きがい教室など一部活動においては、感染防止対策を徹底した中、高齢者が活躍できる取組を推進しました。</p>							

#### 「高齢者の健康増進と介護予防」

高齢者が自身の状態に気づき、予防と改善に向けた行動につなげられるよう、従来のフレイルチェック測定会のみでなく、電話によるフォローアップ、フレイルお尋ねシートによる聞きとり調査、オーラルフレイル予防のためのカムカム教室等、コロナ危機に対応したフレイル対策推進事業を実施しました。また、健康教室や健康チャレンジリーダー養成講座を開催したほか、通いの場（サロン）の開催支援を実施しました。さらに認知症予防教室の実施や認知症サポーター及びチームオレンジメンバーの養成、普及啓発活動を実施することで認知症施策を推進しました。

#### 「終末期に向けた活動支援と虐待防止」

終焉に向けて本人の希望に沿った支援が行えるよう、地域包括支援センターでの相談業務や講演会等でエンディングノートを活用した普及啓発に取り組みました。高齢者虐待の問題解決に向けたネットワーク会議を書面で開催し、平塚市の高齢者虐待の現状と課題を共有しました。また、虐待の相談件数は増加し、内容は複雑多様化しているため支援者が法的根拠に基づき正確且つ迅速な対応ができるよう、関係機関に法律相談周知を行いました。

#### 「介護施設の整備と人材確保」

特別養護老人ホームの入所待機者の減少に向けて、33床増床の施設整備に向けた調整を整備事業者と行うとともに、介護職員初任者研修の受講料の助成、動画による介護職員の紹介などを通して介護人材の安定的な確保及び定着支援を図りました。

#### 施策を推進する上での「課題」

「地域包括ケアシステムの深化・推進」  
介護が必要になっても本人が希望する場所で安心して暮らし続けられる環境を作ることが必要です。また、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う地域包括支援センターの認知度の向上と機能強化及び後方支援が必要です。

「高齢者の生活基盤強化」  
高齢者の生きがい・健康づくりを推進するため、地域社会の担い手として期待されている老人クラブの魅力向上と活動充実を図る必要があります。

#### 課題解決を図るための「取組方針」

「地域包括ケアシステムの深化・推進」  
地域共生社会の実現を見据え、地域包括ケアシステムを推進します。在宅医療と介護の連携を推進し、また、地域包括支援センターの認知度の向上と機能強化及び後方支援を図ります。

「高齢者の生活基盤強化」  
生きがいの創出と健康づくりに取り組む老人クラブの活動を継続させていくために、新規会員の増強と会員の退会防止に向けた取組をクラブが主体的に行うよう支援します。

「高齢者の健康増進と介護予防」

新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響を含め、加齢に伴うフレイルが急速に進行することがないよう、栄養・運動・社会参加の三位一体によるフレイル予防の取組が必要です。また、認知症予防に向けて認知機能の低下を早期に発見し、適切な支援を行うことが必要です。

「終末期に向けた活動支援と虐待防止」

本人の意思が尊重された終焉を迎えられるように終末期に向けた活動の普及啓発や支援体制の構築が必要です。虐待対応においては早期の発見や対応を行うことが重要なため、市民や施設従事者等に対し普及啓発を行う必要があります。また、地域包括支援センター等の支援者の資質向上が必要です。

「介護施設の整備と人材確保」

市内の入所待機者数の減少に向けた広域型の特別養護老人ホーム及び地域密着型の特別養護老人ホームの整備や様々な角度から介護人材の安定的な確保及び定着支援を図る施策を進める必要があります。

「高齢者の健康増進と介護予防」

フレイル対策推進事業を中心とした各種介護予防事業の推進や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」により、高齢者に自身の状態への気づきや自分事化を促し、フレイル予防に対する意識の向上や改善に向けた取組の実践につなげます。また、認知症予防教室を継続して実施し、簡易認知機能検査プログラム等を活用した認知機能低下の早期発見と早期対応により認知症予防に取り組みます。

「終末期に向けた活動支援と虐待防止」

高齢者が自ら希望する終焉について考え、選択できるよう普及啓発するとともに、支援者のスキルアップや関係機関の連携体制を構築する取組を進めます。早期に虐待を発見し、対応をするため、市民や施設従事者等を対象とした普及啓発を行います。また、事例の検討を実施して、支援者の対応スキルの向上に取り組みます。

「介護施設の整備と人材確保」

要介護者の在宅生活延伸を図りつつ、平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第8期〕）に基づく広域型の特別養護老人ホーム増床整備（33床）及び地域密着型の特別養護老人ホーム新規整備（29床）を踏まえ、今後の要介護者特養待機状況を推計して次期高齢者福祉計画における整備目標を定めます。取組内容や方法を工夫したり、関係機関から協力を得ることで、介護人材の安定的な確保及び定着支援を図るための施策を進めます。